

聖籠町・新発田市商工会地区景況調査報告書

構成商工会 豊浦商工会 紫雲寺商工会 加治川商工会 聖籠町商工会（担当）

1. 調査要領

(1) 調査対象

ア 対象地区 聖籠町、豊浦、紫雲寺、加治川商工会地区内小規模事業者等
イ 調査企業数 75 事業所（うち小規模事業者数 70 事業所）
ウ 回答企業数 75 事業所（うち小規模事業者数 70 事業所）
（回答率 100.0%）

(2) 調査対象期間

令和6年1月～令和6年6月
（調査時点 令和6年9月1日）

(3) 調査方法

経営指導員等による巡回または窓口によるヒアリング調査

(4) 調査対象と回答企業の構成

	調査対象		有効回答	
	企業数	構成比	企業数	構成比
製造業	11	14.7%	11	14.7%
建設業	23	30.7%	23	30.7%
卸・小売業	15	20.0%	15	20.0%
サービス業	26	34.7%	26	34.7%
合計	75	100.0%	75	100.0%

2. 地域内産業全体の景況概要

景況感は昨年度調査と比べると、前年同期比と前期比が「悪化」と回答した事業所数が微増、今後の見通しは「好転」「悪化」ほぼ同数であった。アフターコロナという用語が使われなくなった昨今、今年度調査は161円台まで円安が進んだ期間が含まれ、日本経済は緩やかな回復期にあるとみられているが、少子高齢化、人手不足、エネルギー価格高騰など、コロナ禍後の経営環境にいかに対応していくかが課題となっている。後記のとおり、製造業で景況感が悪化している点が目立った。

【後継者の状況】

6割の事業所が後継者がいないと回答している。サービス業に限ると後継者無しが約8割に上った。人材不足の他に、先行き見込がたたないため、廃業せざるを得ない事業所が含まれていると思われる。

後継者 あり	30事業所	40.0%
後継者 なし	45事業所	60.0%

【売上高】

前年同期比、前期比、今後の見通し、すべてにおいて「増加」と回答した事業所が「減少」を上回っている。「仕入単価上昇」に応じた価格転嫁を進めている。また、コロナ関連の自治体による経済対策が終了した後の落ち込みを心配したが、それほどでもなかったとの回答の他、販路開拓、広告宣伝強化、販売価格維持、値上げ実行等々コロナの影響が薄れている印象のコメント、また、人手不足のため受注制限せざるを得ないとの回答もあった。

前年同期比

増加	不変	減少
28	29	18

前期比

増加	不変	減少
27	32	16

今後の見通し

増加	不変	減少
33	30	12

【採算】

前期比、今後の見通しにおいて「好転」が「悪化」を上回り、前年同期比はほぼ同数であった。課題として「仕入単価上昇」を挙げる事業所が多いが、価格転嫁に注力して、その結果徐々に転嫁できている様子が見えてくるのではないかと見通しで「好転」が多いのは、建設業の回答が影響している。

前年同期比

好転	不変	悪化
19	36	20

前期比

好転	不変	悪化
19	40	16

今後の見通し

好転	不変	悪化
26	34	15

【仕入単価】

経営上の問題点として第1位に挙げられた項目が「⑦仕入単価の上昇」であり、業種関わらず、ほぼすべての事業所において仕入単価が上昇、今後も上昇傾向が続くと見込んでいる結果となった。

前年同期比

上昇	不変	低下
53	22	0

前期比

上昇	不変	低下
50	25	0

今後の見通し

上昇	不変	低下
44	30	1

【販売（客）単価】

前年同期比、前期比、今後の見通しすべての項目で、「上昇」と回答した事業所がほとんどであった。少数であったが「低下」と回答した事業所は、卸・小売業に限られ、それ以外の業種では価格転嫁を進めていることがうかがえる。

前年同期比

上昇	不変	低下
32	40	3

前期比

上昇	不変	低下
29	43	3

今後の見通し

上昇	不変	低下
28	44	3

【資金繰り】

製造業では各期において「悪化」と回答した事業所がほとんどであったのが特徴的である。全体を通して、問題点として多く挙げられた、「仕入単価上昇」「人件費、人件費以外の経費増加」による資金繰り悪化が推測される。

前年同期比

好転	不変	悪化
6	51	18

前期比

好転	不変	悪化
4	54	17

今後の見通し

好転	不変	悪化
10	48	17

【雇用動向】

7割以上の事業所が各期において「不変」を占めており、人材不足が課題となっているなか、従業員の維持に努めている様子が見える。

前年同期比

増加	不変	減少
9	57	9

前期比

増加	不変	減少
9	57	9

今後の見通し

増加	不変	減少
7	62	6

【景況判断】

卸・小売業では各期において「悪化」が「好転」を大きく上回っており、次いで「製造業」が悲観的な判断となっている。一方「建設業」では各期において楽観的な判断が多く、「サービス業」では「悪化」「好転」ほぼ同数であった。

前年同期比

好転	不変	悪化
16	37	22

前期比

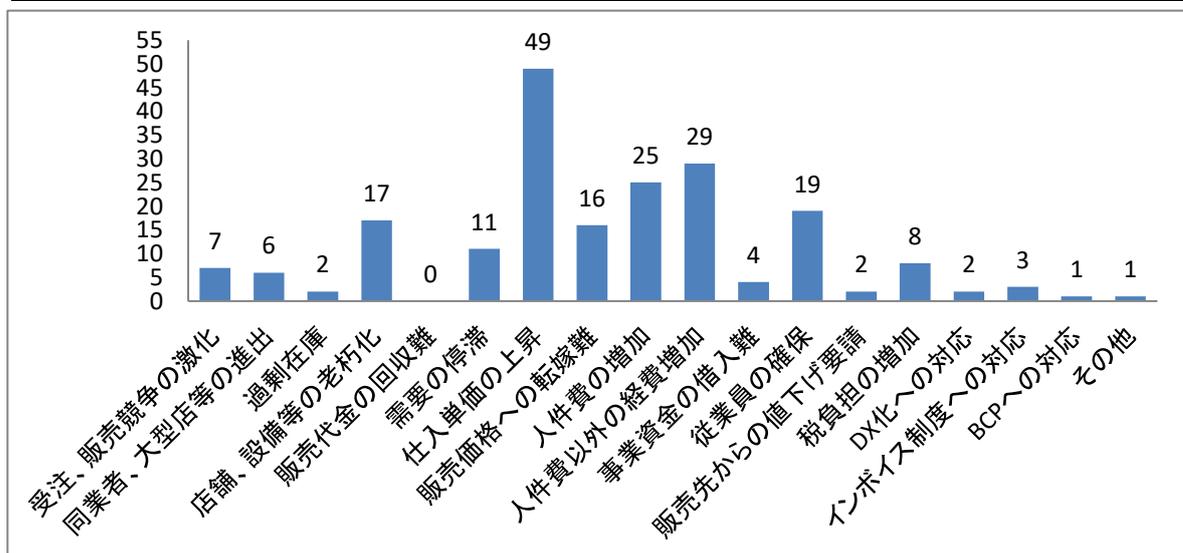
好転	不変	悪化
15	39	21

今後の見通し

好転	不変	悪化
18	36	21

【経営上の問題点】

調査先の半数以上が「仕入単価上昇」を問題点に挙げている（第1位）。昨年度調査に比べて問題点として挙げる事業所数は56から49に減少したが、原材料等原価の高騰に苦慮している状況が続いている。「人件費以外の経費増加」（第2位）「人件費増加」（第3位）が続き、経費の増加に関するものが上位を占め、価格転嫁による利益の確保を図ることが各業種共通の課題となっている。卸・小売業で4割、サービス業で3割の事業所が「店舗、設備等の老朽化」を問題点としている。



3. 産業別景況概要

(1) 製造業

回答事業所数11社。前記のとおり、「資金繰り」の回答について、各期間すべてにおいて「好転」と回答した事業所数がゼロであったのが特筆すべき点である。原材料、人件費、エネルギー価格、経費の増加による採算悪化が景況感に反映されている。加工賃は上がらないなか、高額な製品は価格転嫁できているが、安価な製品は転嫁が難しいとのコメントがあった。その他、業務効率化、広告宣伝、値上げ実行等々課題として挙げられた。経営上の問題点の上位は、「仕入単価の上昇」5社、「販売価格への転嫁難」5社、「人件費以外の経費増加」5社。

(2) 建設業

回答事業所数23社。売上高「今後の見通し」では増加12社、不変10社、減少1社、採算「今後の見通し」では好転9社、不変13社、悪化1社、公共工事の影響によるものと思われる。仕入単価、販売単価では各期間「低下」との回答がほぼ無かった。価格転嫁が進められている様子が見える。従業員確保を経営課題の第2位に挙げられていて、人材不足が直面する問題点となっている。経営上の問題点の上位は、「仕入単価の上昇」19社、「従業員の確保」9社、「人件費増加」8社。

(3) 卸・小売業

回答事業所数15社。「資金繰り」に関して「前年同期比」「前期比」で悪化傾向が明確であったが、「今後の見通し」では好転と悪化の回答事業所数がほぼ同数で、「売上」に関しても増加見通しが上回っていることから、価格交渉がようやく実現する見込みとなっているのか？。ただ全体の「景況判断」においては、各期間において不変と悪化がほぼ同数で、好転の回答は1社のみであった。コロナ禍が追い風となり売上げが伸びた事業所は、終息とともに減少に転じてそのまま低迷が続き、仕入単価上昇に併せて価格転嫁したが、販売単価は下落傾向という、コロナ禍前後の顧客行動の変化を感じているとのコメントがあった。経営上の問題点の上位は、「仕入単価の上昇」11社、「店舗、設備等の老朽化」6社、「人件費以外の経費増加」6社。

(4) サービス業

回答事業所数26社。特徴としては、後継者無しの事業所が8割を占めている。販売単価は各期間において上昇と不変がほとんどを占め、楽観的悲観的どちらかに偏る傾向はみられなかった。コロナ禍前後で生活行動様式、顧客行動の変容が大きく見られた業種であるが、変容に対応した後の流れを継続した経営環境になってきていることがうかがえる。付加価値による差別化、利益率向上、販路開拓、既存事業強化等々、平時に戻っている印象を受けるコメントが上がっている。経営上の問題点の上位は、「仕入単価の上昇」14社、「人件費以外の経費増加」11社、「人件費の増加」8社、「店舗、設備等の老朽化」8社。

(様式②)

No.

景況調査ヒアリングシート（令和6年

調査対象期間 令和 年 月～ 月

(調査時点 令和 年 月 日)

商 工 会 名	商工会	担当職員名	
企業 の 概 況	業 種	1：製造 2：建設 3：卸・小売業 4：サービス他	
	従業員数	1：0人 2：1人～2人 3：3人～5人 4：6人～20人 5：20人以上	
	企業区分	1：小規模事業者 2：小規模事業者以外	
	後継者の有無	1：有 2：無	

(1) 貴社の状況についてお答えください。(該当する番号に○を付してください。)

	前年同期(令和●年●月～●月)と比較して	前期(令和●年●月～●月)と比較して	今期(令和●年●月)と比較した末期(令和●年●～●月)の見直し
売 上	1.増加 2.不変 3.減少	1.増加 2.不変 3.減少	1.増加 2.不変 3.減少
採算(経常利益)	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化
仕 入 単 価	1.上昇 2.不変 3.低下	1.上昇 2.不変 3.低下	1.上昇 2.不変 3.低下
販売(客)単価	1.上昇 2.不変 3.低下	1.上昇 2.不変 3.低下	1.上昇 2.不変 3.低下
資 金 繰 り	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化
雇 用 動 向	1.増加 2.不変 3.減少	1.増加 2.不変 3.減少	1.増加 2.不変 3.減少
景 況 判 断	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化

(2) 貴社の経営上の問題点(下記より上位3つまでを選び、○を付してください。)

- ①受注、販売競争の激化 ②同業者、大型店等の進出 ③過剰在庫
 ④店舗、設備等の老朽化 ⑤販売代金の回収難 ⑥需要の停滞
 ⑦仕入単価の上昇 ⑧販売価格への転嫁難 ⑨人件費の増加
 ⑩人件費以外の経費増加 ⑪事業資金の借入難 ⑫従業員の確保
 ⑬販売先からの値下げ要請 ⑭税負担の増加 ⑮DX化への対応
 ⑯インボイス制度への対応 ⑰BCPへの対応
 ⑱その他()

(3) 今後の事業・経営において強化したい点(設備投資・販路開拓等)